

「情報通信月間」中国総合通信局長表彰

1 団体

鳥取県教育委員会 様

(代表:教育長 ^{やまもと}山本 ^{ひとし}仁志 様)

インターネットの安心・安全な利用に向けた教育啓発活動として、小学校を中心に毎年100件程度の講師派遣を行っており、特に近年のスマホ・ネット利用の低年齢化に対応して保育園、幼稚園にも講師を派遣したことに加え、講師スキルアップ講習会を毎年実施されました。また、ワークショップ、コンクール等を通じての利用ルールの周知啓発や親子学習ノートの配布による家庭における親子で学ぶ機会を提供するなど、様々な取組を積極的に行われ、安心・安全な青少年インターネット利用環境の整備に多大な貢献をされました。

松江市 様

(代表:市長 ^{まつうら}松浦 ^{まさたか}正敬 様)

地域にゆかりのあるプログラミング言語「Ruby」を用いたICT人材育成として、平成19年度より島根大学や松江工業高等専門学校を支援し、市民向けの「Rubyプログラミング講座」を開催し、平成28年度からは「スモウルビー」を活用した全公立中学校におけるプログラミング教育を実施しました。また、市内外のエンジニアが出会い、技術を高める交流の場として平成18年度に「松江オープンソースラボ」を開設し、これまで県外より39社を企業誘致する実績を上げるなど、ICT人材の育成と地域の活性化に多大な貢献をされました。

八頭町 様

(代表:町長 ^{よしだ}吉田 ^{ひでと}英人 様)

八頭町総合戦略プロジェクトとして地域・企業と連携して平成29年に「隼Lab. (はやぶさラボ)」を設立し、旧小学校舎を改修して、サテライトオフィス、コワーキングスペース、カフェ等を開設し、ICTを活用した新ビジネスや地域雇用創出などの新たなまちづくり事業に挑戦されています。これらの公民一体の取組により、既に3社の新規起業者が誕生して新ビジネスや雇用を創出し、地域との交流も始まっており、中山間地域の地域活性化のパイオニアとして多大な貢献をされました。

一般社団法人データクレイドル 様

(代表:代表理事 ^{しんめん}新免 ^{くにお}國夫 様)

高梁川流域の7市3町が連携して、オープンデータの取組を広域的に推進し、地域のオープンデータを分析してポータルサイトにより公開し、地域課題の見える化を行いました。

また、eラーニングにより子育てや介護のために離職した女性や学生などを対象に、データ処理、データ分析業務を行うためのスキルを教育し、「公共データサイエンティスト」の育成を行うとともに、テレワークによる就業機会を提供するなど、「地域における地域による地域のためのデータ活用」による地域の活性化に多大な貢献をされました。

株式会社石井事務機センター 様

(代表:代表取締役 ^{いしい まさひろ}石井 聖博 様)

全国各地で開催された総務省主催のテレワークセミナーにおいて、講師を務めテレワークの啓発を行うとともに、岡山県内中小企業経営者に対して「働き方改革対策事例セミナー」を継続的に開催されました。また、自社オフィスモデルオフィスとして広く見学や視察を受け入れ、自社ノウハウを中小企業に提案するなど、テレワークを通じた働き方改革の推進に多大な貢献をされました。